

奈良県「地域貢献サポート基金」への寄付について

弊社は、平成 22 年 10 月をもって設立 55 周年を迎えます。これも奈良県をはじめとする地域の方々の支えあつてのことと感謝いたしております。そこでこの度、設立 55 周年記念事業並びに社会貢献活動の一環として、奈良県が推進する「地域貢献サポート基金」に 200 万円の寄付をすることにいたしました。

【寄付の背景】

弊社は、昭和 25 年、高鳥王昌(現 代表取締役会長)が、奈良県の繊維産業で使用される機械の修理業を生業とし、創業いたしました。王昌は当時、大和高田市にあった工業試験場(現 工業技術センター)に間借りして商売をしておりました。昭和 31 年、会社設立の切っ掛けとなったのは、同じく奈良県の地場産業である吉野葛を粉砕する「吉野葛粉碎機」の大ヒットでした。平成元年、本社工場(橿原市)の新設にあたっては、奈良県をはじめとする関係機関の方々に大変お世話になりました。

近年では、奈良県が推進する「やまと産学官連携プラットフォーム」への参加を通じて、奈良高専様との共同開発が実現し、近畿経済産業局が推進する平成 21 年度戦略的基盤技術高度化支援事業に採択されました。また、LED 基盤となるファイア向けのマルチワイヤーソーが、第 3 回奈良県ビジネス大賞最優秀賞を受賞いたしました。

設立以来 55 年、地域と共に歩み、今も変わらず支えていただいていることへの感謝と、地域貢献活動の一環として、奈良県が推進する「地域貢献サポート基金」の「テーマ希望寄付」に寄付することにいたしました。

【テーマ希望寄付】

「テーマ希望寄付」は、弊社が希望するテーマに沿った活動に、NPO等の団体からの事業提案を募集し、支援することができます。

希望するテーマ : 「地球温暖化防止など、環境問題の解決を目指す活動」

【テーマの主旨】

現在、地球温暖化をはじめとする環境問題が大きな社会的課題となっております。タカトリは、産業機械メーカーとして、LEDや太陽電池向けの製造装置の開発や、経済産業省が推進する「低炭素社会を実現する新材料パワー半導体プロジェクト」への参加を通じて、エコロジー製品のコストダウン、普及に努め、環境問題の解決を目指しております。

そうした中、志を同じくする、環境問題の解決を目指す活動を支援することで、より幅広く地域社会に貢献していきたいと考えております。

【感謝状贈呈式の様子】

荒井知事より感謝状をいただきました。ありがとうございました。

